取扱説明書

コンパクトコンポーネントシステム

型名 FS-SD1000

● もくじは 2 ページにあります。

ーお買いあげありがとうございますー

⚠ご使用の前に

この**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に 3 〜 6 ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0685-014D

もくじ

お使いになる前に　ページ

準備　ページ

聞く　ページ

時計・タイマーを使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると､「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると､「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ている、へんなにおいがするとき

電源プラグを抜く

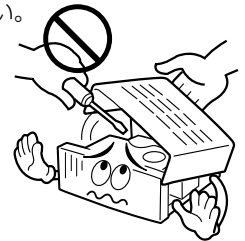
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

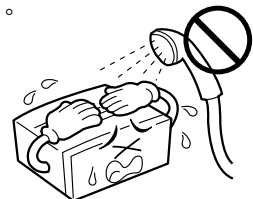
すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

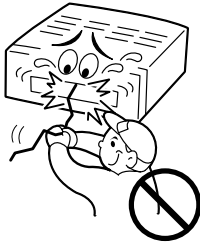
火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

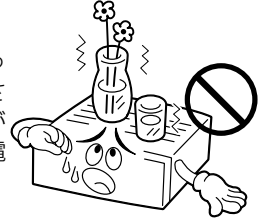
分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

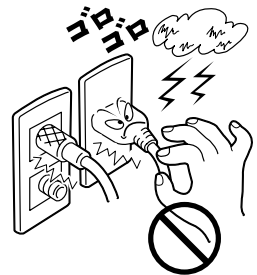
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

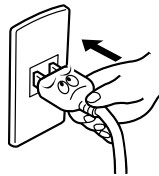
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

接触禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

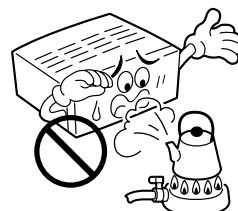
⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

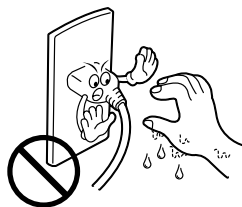
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

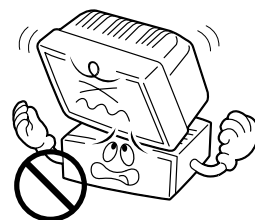
置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本機の上に重い物を置かない。

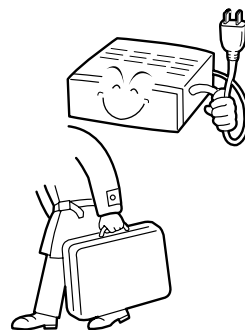
テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから15 cm以上離す
- 本体側面の冷却用の通風孔をふさがない（1 cm以上空ける）

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

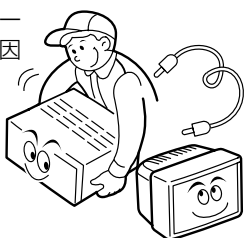
電源プラグを抜く

ディスク挿入口に、手を入れない。

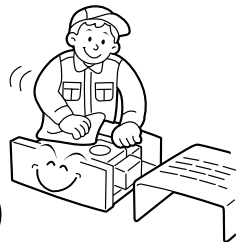
トップカバーの開閉時に手を挟まれ、けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう注意

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

はじめから音量を上げすぎない。

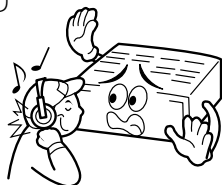
突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

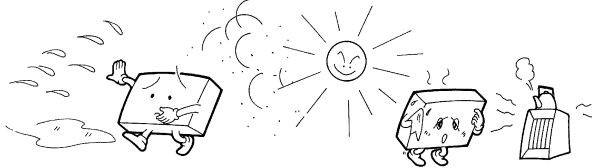
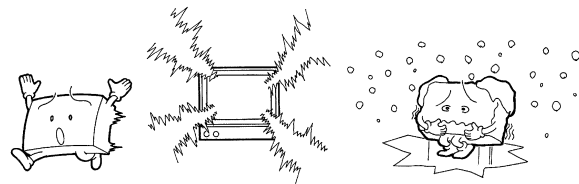
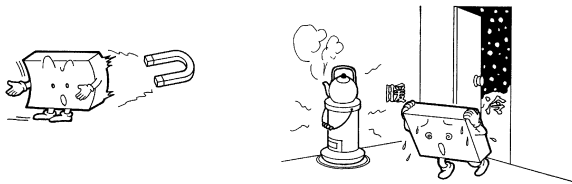
電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

本機やCDの置き場所について

● 故障などを防止するため次の場所は避けてください。

・湿気やほこりの多い所　・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば
・不安定な所
・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA 機器やけい光灯のすぐそば
・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

● **ポールスピーカー（DDスピーカー）は、精密に作られております。衝撃等を与えないように、取り扱いには十分ご注意ください。**

ヘッドホンについて

● ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

■ステレオを聞くときのエチケット
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いてCDが正しく演奏できない場合があります。

● 暖房を始めた直後
● 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
● 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、約１～２時間待ってからお使いください。

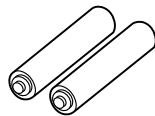
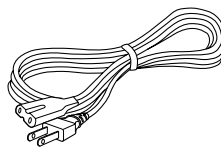
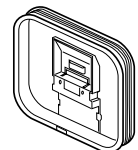
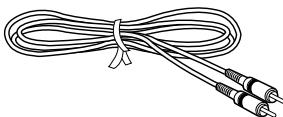
本機の使用温度範囲は５℃～35℃です。この範囲を超えると、正しく動作しないことがあります。

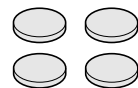
冷却用ファンについて

本体の側面には冷却用ファンの通風孔があります。大出力でお使いのときなど本体の温度が上昇すると、冷却用ファンが回転します。設置するときは、本体の側面を１cm以上空けてください。

付属品の確認

お使いになる前に付属品をお確かめください。

リモコン
RM-SFSSD1000-S
（１個）

単３形乾電池（２本）
（リモコン動作確認用）

電源コード（１本）

AMループアンテナ
（１個）

ピンコード（１本）

FM簡易型アンテナ（１本）

フット（４個）

各部の名前 —□内の数字のページに説明があります。—

本　体

⏻/I（電源）ボタンとSTANDBY/ONランプ 16
電源の「入⟷切（スタンバイ）」ができます。

OPEN/CLOSEボタン 20
トップカバーを開閉するとき使います。

PHONES端子
市販のヘッドホン（ステレオミニプラグ付）をつなぎます。
スピーカーの音は出なくなります。

リモコン受光部 11
リモコンの信号をここで受信します。

表示窓（ディスプレイ）
9 ページをご覧ください。

PRESET TUNING +、−ボタン
プリセット選局するとき使います。19

トップカバー
電源を「入」にする、またはリモコンのDOOR SLIDEボタンでスライドさせます。16
図の位置は、スライドして各ボタンの操作ができる状態です。
電源「切」にする、またはリモコンのDOOR　SLIDEボタンをもう一度押すと閉まります。

CLOCKボタン 23

TIMERボタン 24

ソース（音源）ボタン
・MD/AUX 16 22
・FM/AM 16 18

VOLUME+、−ボタン 16

CD▷/IIボタン 16 20
CDの演奏／一時停止

MULTI CONTROLボタン
ソース（音源）によって働きが異なります。

	ラジオ	CD
I◀◀と▶▶I	マニュアル選局／オート選局 19	曲の頭出し、早送り／早戻し 20
■	−	CD停止 20
UPとDOWN	時刻を合わせたりタイマー予約ができます。23 24	

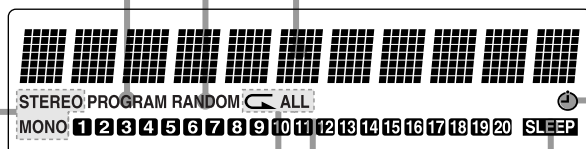
表示窓(ディスプレイ)

ランダム演奏表示 22

プログラム演奏のモード表示 21

文字情報表示部
曲番号や演奏時間などが表示されます。

STEREO PROGRAM RANDOM ALL
MONO 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 SLEEP

タイマーモード表示 24

スリープタイマー表示 26

FM放送のモード表示 19

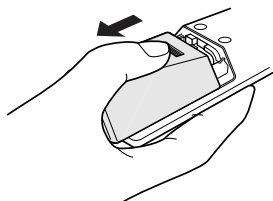
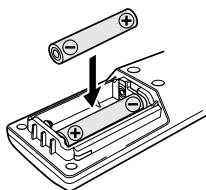
リピート演奏表示 22

ミュージックカレンダー 20
CDの曲番号を表示します。
演奏が終わると消えます。

サブウーハー

各部の名前 ー□内の数字のページに説明があります。ー

説明のないボタンは、本体の各ボタンと同じ働きをします。

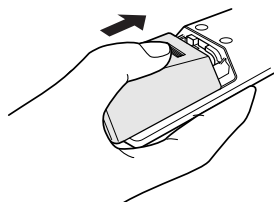
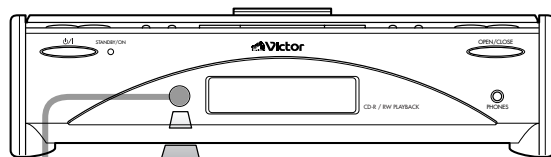
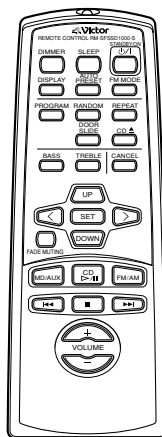
リモコンの乾電池の入れかた

1 裏ブタを開ける

2 乾電池を入れる

単３形乾電池を２本入れます。
リモコン内部の表示に極性（＋、－）を合わせて正しく入れます。

3 裏ブタをしめる

矢印の方向に戻します。

〈お知らせ〉

- リモコン操作できる距離が短くなったときは、電池が消耗してきています。
 ２本とも新しい電池（単３形アルカリ乾電池など）に交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早目に新しい乾電池と交換してください。
 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- リモコンを落としたり､強い衝撃を与えないでください。
- 他のラジオにノイズ（雑音）が入るときは、離してお使いください。
- 次のような状態では使用しないでください。動作しないことがあります。
  - ・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき
  - ・リモコン受光部の前にリモコンの信号を妨げる物があるとき

● リモコン操作のしかた

・リモコン受光部に正しく向けて操作してください。
・操作可能な距離は、リモコン受光部より約７ｍですが、斜めから操作すると短くなります。

接続 ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

アンテナの接続と調節

● FM簡易型アンテナの接続

放送局を受信し、最も受信状態の良い位置に「**ピーン**」と伸ばしてテープなどで固定します。

● AMループアンテナの接続と調節

AMループアンテナ
（付属品）

アンテナ線の先端にビニールが付いているときは、**ねじりながら抜き取ります。**

溝に差し込む

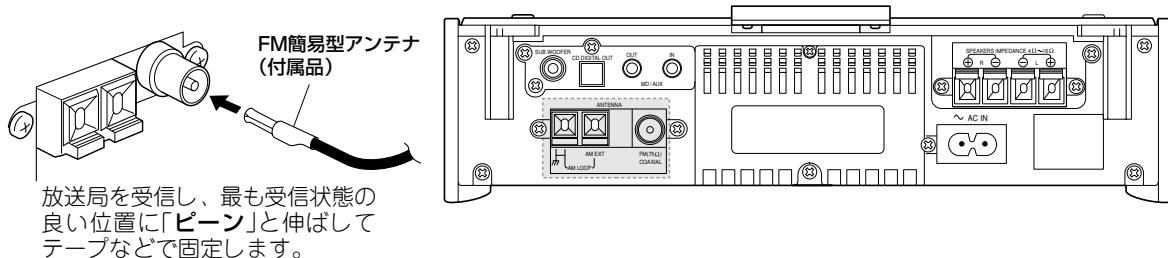
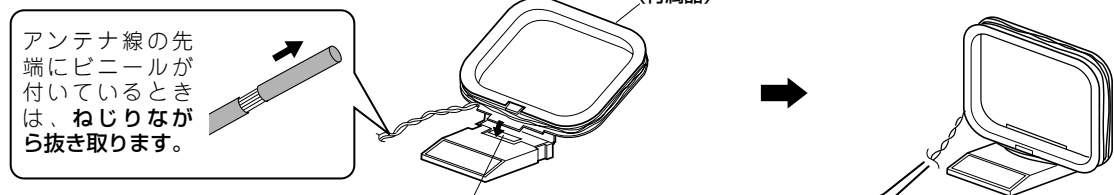
ANTENNA

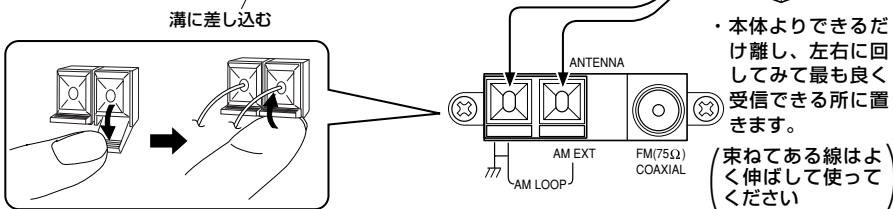
AM EXT

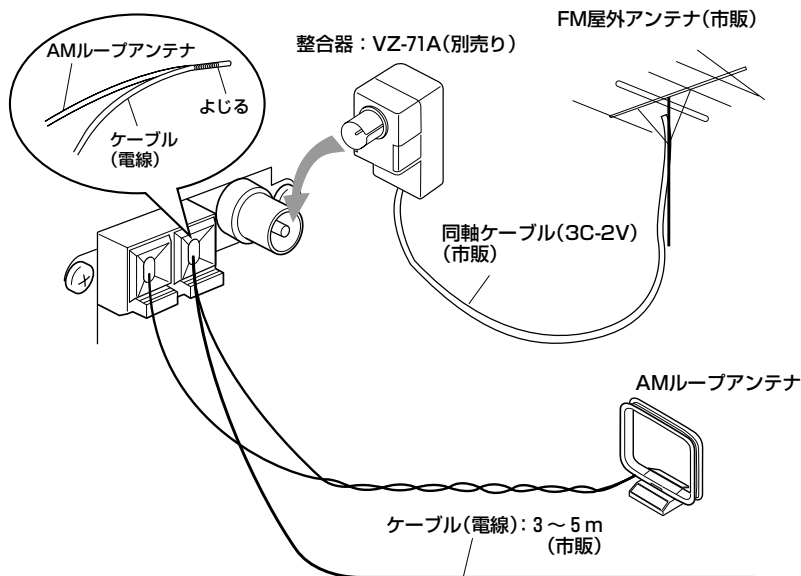
FM(75Ω)
COAXIAL

AM LOOP

・本体よりできるだけ離し、左右に回してみて最も良く受信できる所に置きます。

（束ねてある線はよく伸ばして使ってください）

〈お知らせ〉

- アンテナを接続しないと、放送を聞くことはできません。
- AMループアンテナは、金属製の机の上やパソコン、テレビなどの近くに置かないでください。
  受信感度が悪くなります。

● 屋外アンテナの接続と調節

- ・FM放送の場合、雑音が多くて聞きにくいときは、市販の屋外用のFMアンテナを使います。
  マンションなどの、壁の共聴アンテナ端子も利用できます。
- ・AM放送の場合、市販のケーブル（3～5ｍの電線）を使います。

- 屋外アンテナの設置は、技術と経験を必要としますので詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
- アンテナを接続したら、コードを引いてみてしっかり接続されているか確認してください。

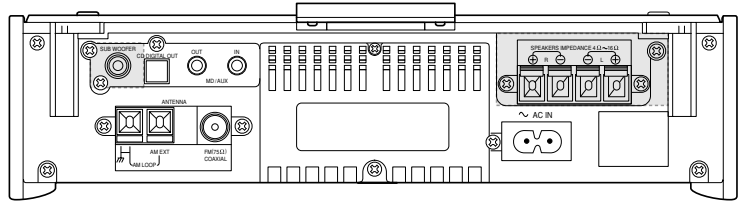
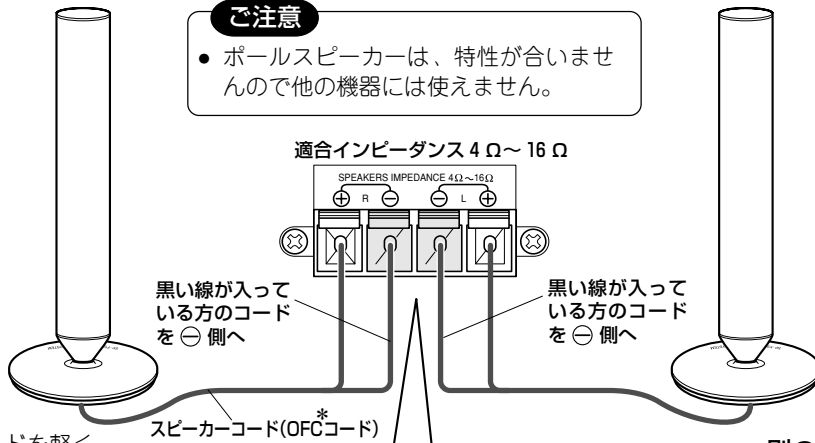
・AMループアンテナも一緒に接続しておきましょう。ケーブル（電線）は、窓際や屋外になるべく高く水平に張ると効果的です。

スピーカーコード・サブウーハーの接続

● スピーカーコードの接続

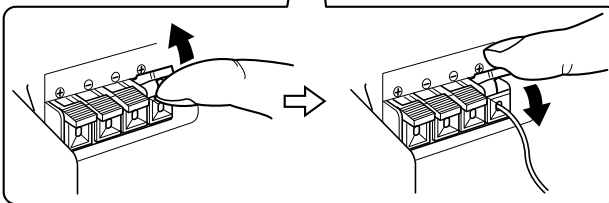
ポールスピーカーは、左右の区別がありません。正面向かって右側に置くスピーカーをR端子へ、左側に置くスピーカーをL端子へ接続します。

ご注意

- ポールスピーカーは、特性が合いませんので他の機器には使えません。

〈お知らせ〉

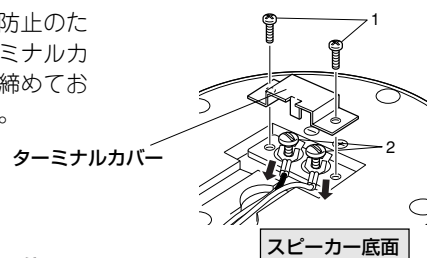
- スピーカーコードを軽く引いてみて、しっかり接続されているか確認してください。
- スピーカーコードの⊕⊖を逆にすると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- ポールスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビの近くに設置するときは、十分離してください。また、サブウーハーと併用しないと低音が不足した音になります。

＊ **OFCコードとは：**
Oxygen Free Copperの略で、無酸素銅のことです。

- ショート事故防止のため、必ずターミナルカバーは元通り締めておいてください。

● 別のスピーカーコードを使うとき

1 ネジを外し、ターミナルカバーを取る

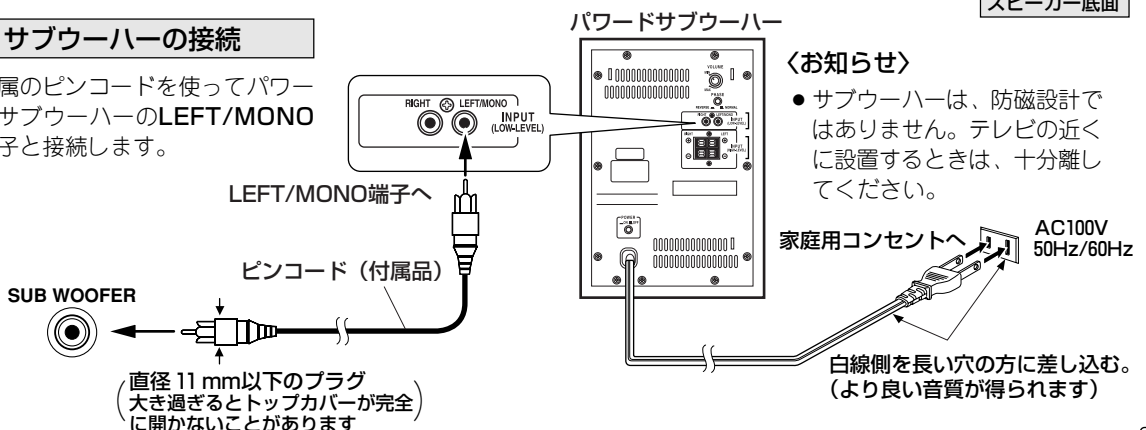
2 端子のネジをゆるめてコードを外す

スピーカー底面

● サブウーハーの接続

付属のピンコードを使ってパワードサブウーハーの**LEFT/MONO**端子と接続します。

〈お知らせ〉

- サブウーハーは、防磁設計ではありません。テレビの近くに設置するときは、十分離してください。

準備

他の機器、電源コードの接続

MD/AUX端子に他の機器を接続するときは、ステレオミニプラグ付きのコード(別売り)を使います。
CD DIGITAL OUT端子に接続するときは、光デジタルケーブル(別売り)を使います。

〈アナログ接続〉

ステレオミニプラグ
信号
(直径 11 mm以下)
接続コードCN-201A(別売り)
OUT IN
MD/AUX
レコードプレーヤー AL-E350(別売り)など
フォノイコライザー AC-S100J(別売り)
(イコライザーアンプなしのとき)
または
例：マイクを使うとき
オーディオミキサー MI-A40(別売り)
MDデッキなど(市販品)

〈デジタル接続〉

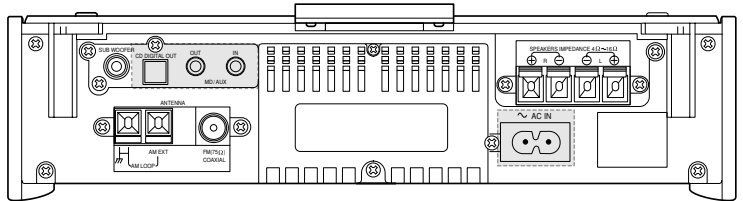
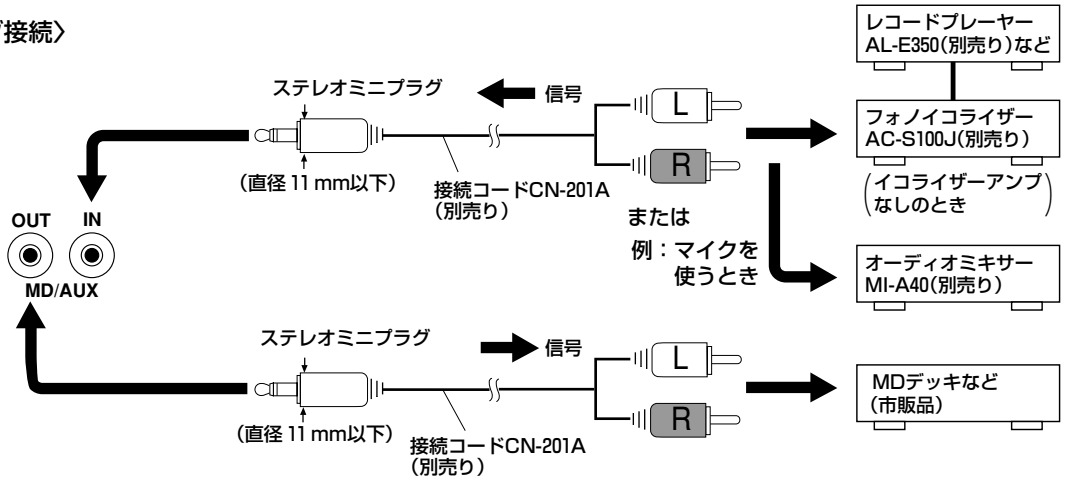
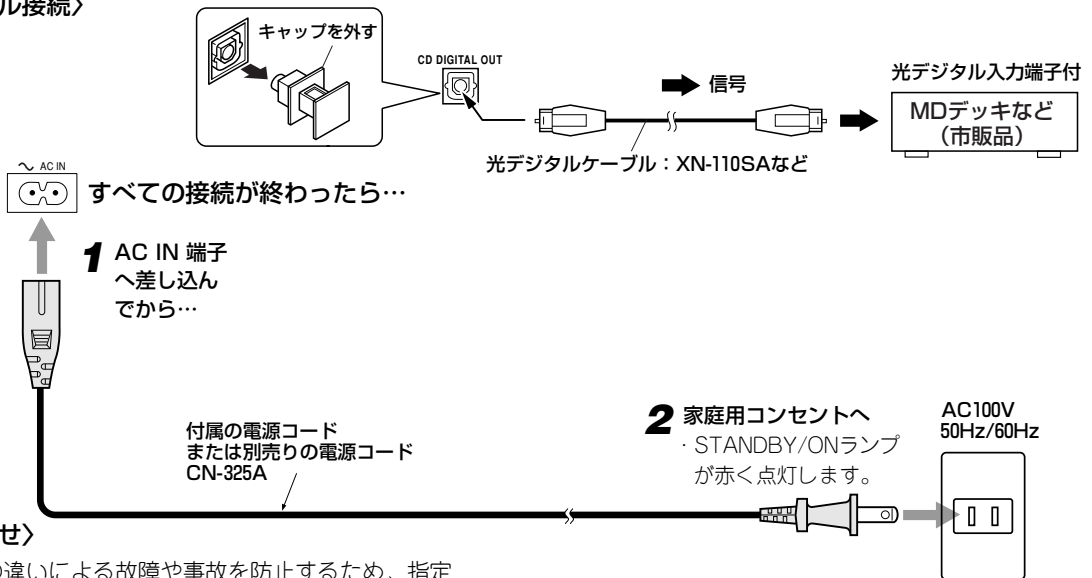
キャップを外す
CD DIGITAL OUT
信号
光デジタル入力端子付
MDデッキなど(市販品)
光デジタルケーブル：XN-110SAなど

AC IN **すべての接続が終わったら…**

1 AC IN 端子へ差し込んでから…

付属の電源コード
または別売りの電源コード
CN-325A

2 家庭用コンセントへ
・STANDBY/ONランプが赤く点灯します。

AC100V
50Hz/60Hz

〈お知らせ〉

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード：**CN-325A**をお買い求めください。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。
(電源が切れていても、電源コードが接続されていると本体は約 **1.6 W**、サブウーハーは約 **5 W**の電力を消費します)

ご注意

- 20 分以上の停電や電源コードがコンセントから抜いてあると、時計の設定やタイマー予約の内容は取り消されます。電源コードをつないだり停電が復旧したら合わせ直してください。

サブウーハーの調節

サブウーハーの音量調節

〈お知らせ〉
- LOW-LEVELとHIGH LEVEL入力端子は、同時に使用しないでください。

1 POWERスイッチを「▃ ON」にする

・サブウーハーのSTANDBY/ONランプが緑色に点灯します。

2 VOLUMEつまみを「MIN」にする

・音量をしぼっておきます。

3 本体の音量を聞きたい音量に調節する

（➡16ページ参照）

・低音成分の多いCDなどを演奏状態にします。

4 VOLUMEつまみをでサブウーハーの音量を本体の音量とバランスさせる

● サブウーハーの位相切換え

PHASE

REVERSE ▃ ▇ NORMAL

サブウーハーからの低音が豊かに聞こえる状態（▇NORMALまたはREVERSE ▃）を選びます。通常は▇NORMALの状態で使います。

● オートパワーオフ機能について

次のような場合、サブウーハーが自動的に待機状態になり、STANDBY/ONランプが赤色に変わります。
・無音状態（非常に小さい音の状態）が5分以上続いたとき

再び音が入力されると、動作状態に戻り再生音が出力されSTANDBY/ONランプが緑色になります。
長時間サブウーハーを使用しないときは、POWERスイッチを「▇OFF」にしておいてください。

● フットの取り付け

サブウーハーの底面のキズ防止や滑り止めに、付属のフットを張り付けておきます。

準備

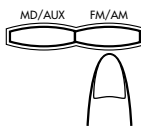
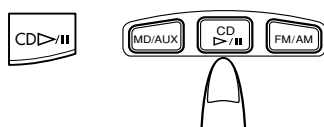
簡単操作(電源の入/切、イチ押しプレイ) ー番号順に操作します。ー

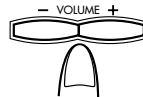
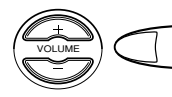
● 基本的な使いかた

1 ⏻/I (電源)ボタンを押す

本 体　　リモコン

・電源が入り、「HELLO」が表示されたあと前回使用していたソース(音源)が表示されます。
STANDBY/ONランプが緑色に変わります。
・トップカバーが上記の図の位置まで移動し、本体の操作ができるようになります。
・リモコンのCD▷/II、FM/AM、MD/AUXボタンのいずれかを押したときも電源が入り、ソース(音源)も変わります。
➡イチ押しプレイといいます。
(CD▷/IIボタンを押した場合ディスクが入っていたときは、演奏が始まります)

2 聞きたいソース(音源)を選ぶ

本 体　　リモコン

	操　作	参照ページ
CDを聞く	CDを入れ、CD▷/IIボタンを押す	20
放送を聞く(ラジオ)	FM/AMボタンを押して聞きたい放送局を選局する	19
他の機器の音声を聞く	レコードプレーヤーなどをつなぎMD/AUXボタンを押す	22

3 VOLUMEボタンで音量を調節する

本 体　　リモコン

・VOLUME 0 〜50 の範囲で調節できます。
＋側を押すと音量が上がり、－側を押すと音量が下がります。

● 使い終わったら…

⏻/I (電源)ボタンを押して電源を「切」にします。
トップカバーが閉まり、「GOOD BYE」が表示されたあと表示窓に現在時刻が表示されます。STANDBY/ONランプが赤色に変わります。

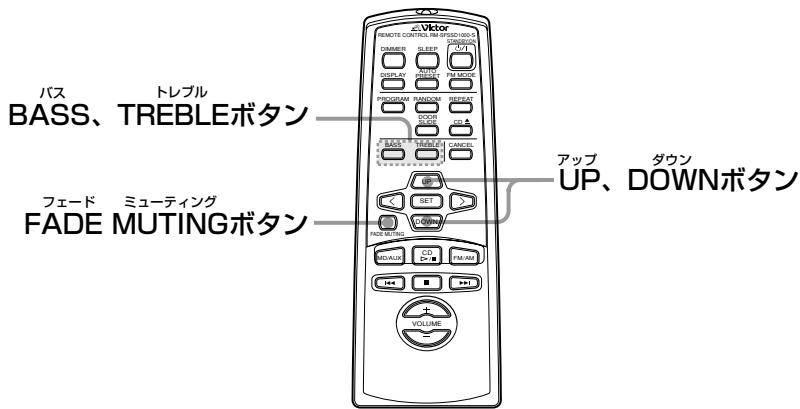
表示窓の明るさを変える(DIMMER)…リモコンのみ

リモコンのDIMMERボタンを押すと、表示窓の明るさを変えることができます。

・電源「入」のとき：　通常の明るさ
⬍
暗い
(スリープの動作時間設定中は明るくなります)

・電源「切」のとき：　背面照明なし
⬍
背面照明暗く点灯
(電源を「入/切」してもメモリーされています)

〈お知らせ〉

● 電源「切」のとき本体のOPEN/CLOSE(リモコンのCD ⏏)ボタンを押すと､電源が入りトップカバーが開らきます。またリモコンのDOOR SLIDEボタンを押したときも、電源が入りトップカバーが上記の図の位置まで移動します。ただし、ソース(音源)は変わりません。

音質の調節(BASS、TREBLE)…リモコンのみ

● 低音を調節するとき

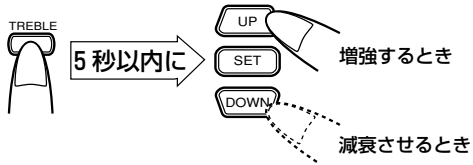
・BASS 0 ± 5 の範囲で調節できます。

● 高音を調節するとき

・TREBLE 0 ± 5 の範囲で調節できます。

＜お知らせ＞

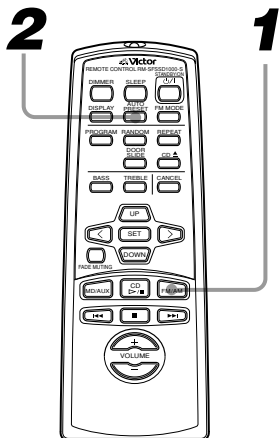
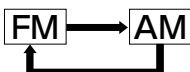
・BASS、TREBLE表示は、調節が終わったあと約5秒で元のソース(音源)の表示に戻ります。

音量を徐々に下げる(FADE MUTING)…リモコンのみ

電話がかかってきたときなどで、一時的に音量を0にしたいときはリモコンのFADE MUTINGボタンを使います。
もう一度FADE MUTINGボタンを押すと、元の音量に戻ります。

聞く

放送を聞く ー番号順に操作します。ー

放送局を記憶させる(オートプリセット)…リモコンのみ

FM放送は最大 30 局、AM放送は最大 15 局まで記憶させることができます。

1 FM/AMボタンを押してバンドを選ぶ

・電源が入り、押すごとにバンドが選べます。
・選んだバンドごとにプリセットできます。

2 AUTO PRESETボタンを 2 秒以上押す➡プリセットスタート

・周波数の低い放送局からメモリーし、P-1の放送局が表示されると終わりです。

・2 秒以上押す。

3 1と 2 の操作で別のバンドをプリセットする

〈お知らせ〉

- 電源コードを抜いた状態(または停電)が24時間以上続くと、記憶させた放送局は取り消されます。再度記憶させてください。
- AM放送は、モノラル受信です。AM放送を受信するときは、必ずAMループアンテナ(付属品)を接続してください。
- FM簡易型アンテナやAMループアンテナではうまく受信できないときは、市販の屋外アンテナを使用してください。

● **マニュアルプリセット(リモコンのみ)**

オートプリセットでメモリーできなかった放送局や、よく聞く放送局をプリセットし直すときはマニュアルプリセットの機能を使います。

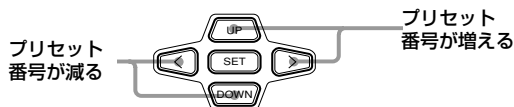
1. FM/AMボタンを押す

2. ▶▶I(またはI◀◀)ボタンで選局する

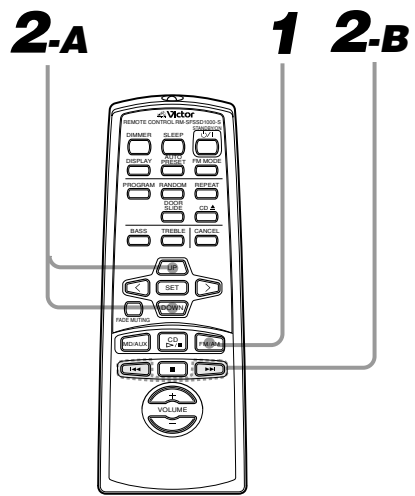
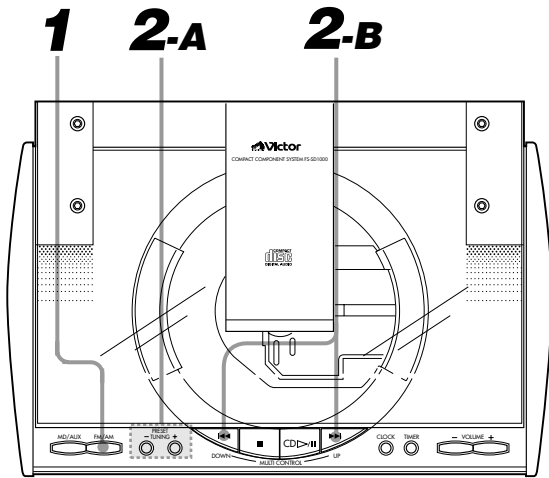
・オート選局またはマニュアル選局で放送局を選びます。➡⑲ページ参照

3. SETボタンを押す

・SET表示が 5 秒間点滅します。点滅している間に手順**4・5**の操作をしてください。

4. UP、DOWNまたは >、<ボタンで記憶したいプリセット番号を選ぶ

5. SETボタンを押す

・STORED表示が点滅し、メモリーされます。2 秒後に受信周波数が表示されます。

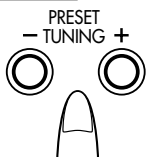
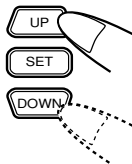
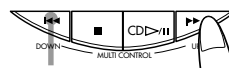
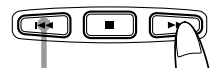
プリセット選局／オート選局・マニュアル選局

1 リモコンのFM/AMボタンを押す

リモコン

· 押すごとにバンドが選べます。
· トップカバーが上記の図の位置まで移動します。
· 本体で操作するときは、電源を入れてから
FM/AMボタンを押します。

2 選局する

2-A 放送局が記憶してあるとき（プリセット選局）

本　体　　　リモコン

· ＋（リモコンはUP）ボタンを押すと　：P 1 ➡ P 2 ➡ P 3 …の順で選局できます。
· −（リモコンはDOWN）ボタンを押すと　：P 30 ➡ P 29 ➡ P 28 …の順で選局できます。
（AM放送は P 15 ➡P 14 …となります）

2-B ▶▶Iまたは I◀◀で選局する

本　体　　　リモコン

周波数を下げるとき　上げるとき　周波数を下げるとき　上げるとき

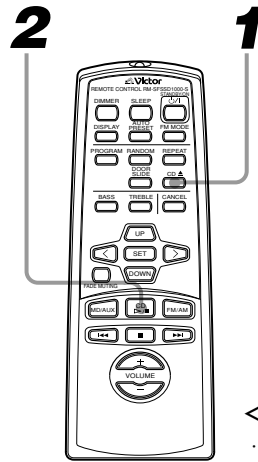
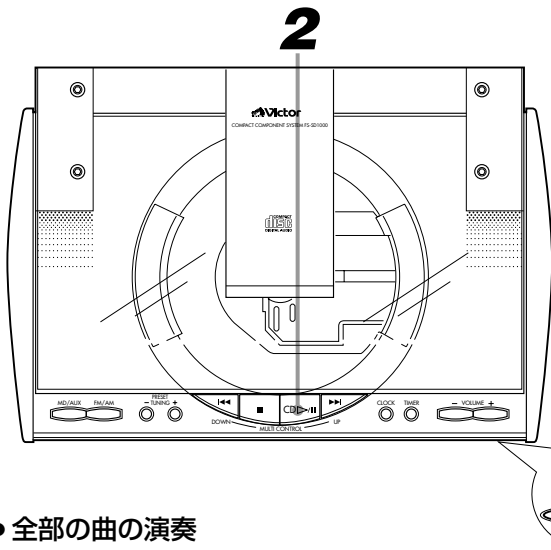
・**オート選局**：▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押し続け、周波数表示が変わりだしたら指を離します。放送局を受信すると､自動で止まります。

・**マニュアル選局**：▶▶Iまたは I◀◀ボタンを｢ポン・ポン｣と押します。**FM***は 0 . 1 MHzずつ、**AM**は 9 kHzずつ変わります。

＊テレビの 1 〜 3 チャンネルは、周波数が合わないためうまく受信できません。これはテレビ音声が50 kHz間隔のためで、故障ではありません。

● FM放送を聞くときは

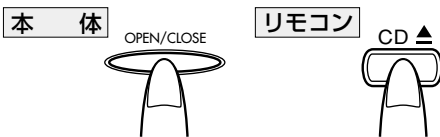
通常は**F M** ステレオ放送を受信すると､表示窓に **“STEREO”** が表示されステレオで聞くことができます。雑音が多くて聞きにくいときは､リモコンの**FM MODE**ボタンを押して **“MONO”** 表示に切換えてください。

CDを聞く ー番号順に操作します。ー

＜お知らせ＞
・CDの取扱いについては 21 27 ページをご覧ください。

● 全部の曲の演奏

1 CDを入れる

1-1 トップカバーを開ける

本　体　　リモコン

1-2 CDを入れる

・文字のある面を上にし、CDの中央付近を「カチッ」と音がするまで軽く押してはめ込みます。

・８センチCDもそのまま使えます。
・すぐ聞きたいときはCD▷/❚❚ボタンを押します。トップカバーが閉まり演奏が始まります。

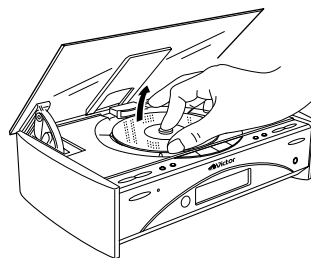
1-3 OPEN/CLOSE（リモコンはCD⏏）ボタンを押してトップカバーを閉める

2 CD▷/❚❚ボタンを押す

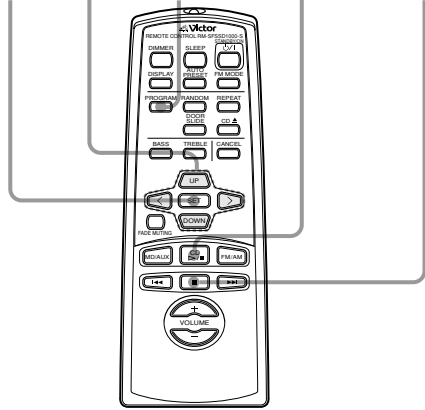
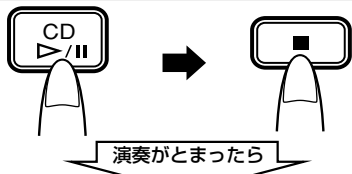
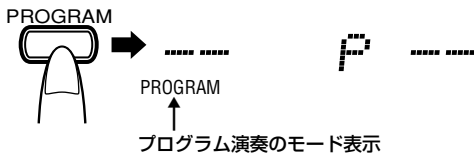
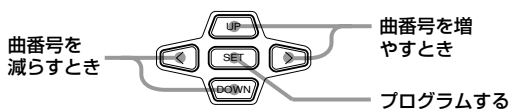
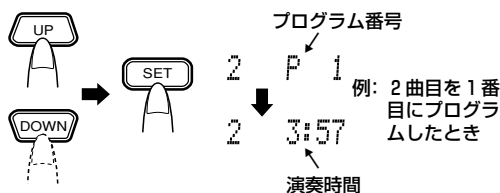
本　体　　リモコン

・１曲目から演奏がスタートし、全部の曲の演奏が終わると、自動停止します。

	操　　作
演奏をとめる	■（停止）ボタンを押します。 曲数と総演奏時間が表示されます。
一時停止する	CD▷/❚❚ボタンを押します。演奏経過時間表示が点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏を再開します。
曲の頭出し（スキップ）	❙◀◀ボタン：押すごとに戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。 ▶▶❙ボタン：押すごとに次の曲の頭に移ります。 停止中に押すと、曲ごとの演奏時間が分かります。
曲の早送り・早戻し（サーチ）	・演奏中に押し続けます。 ❙◀◀ボタン：早戻しができます。 ▶▶❙ボタン：早送りができます。 （演奏音が小さく聞こえます）

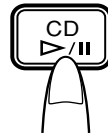
● CDの取り出しかた

・OPEN/CLOSEボタンを押してトップカバーを開けたあと、中央の突起部を押さえながらCDを持って取り出します。

プログラム演奏（リモコンのみ）

最大 32 曲までプログラム（予約）できます。

1 CD▷/II➡■ボタンを押してソース（音源）を「CD」にする

2 PROGRAMボタンを押す

3 UP、DOWNまたは>、<➡SETボタンでプログラムする

・>または<ボタンを押し続けると、曲番号が連続して変わります。

・プログラムすると、ミュージックカレンダーに曲番号が表示されます。
・最大 32 曲プログラムできますが、33 曲目を指定すると「MEMORY FULL」が約 2 秒間表示されます。

4 手順3をくり返してプログラムする

・曲番号 33 以上の曲も予約できますが、演奏時間は表示されません。
・演奏合計時間が 99：59 を超えると－－：－－表示になります。

5 CD▷/IIボタンを押す

・プログラムした順に演奏されます。終わると自動停止しますが、プログラムは残ります。

● **プログラム内容の確認（停止状態のときのみ）**

▶▶Iボタンを押すごとに、プログラム 1 からの曲番と順番が表示されます。I◀◀ボタンを押すと逆に表示されます。なお順番の表示から 2 秒後に、プログラムの合計時間に変わります。

● **プログラムを間違えたときは**

停止状態のときCANCELボタンを押します。押すごとに最後のプログラムから取り消されます。

● **プログラム演奏のモードを取り消すには**

CDを取り出すと取り消されます。また電源を切ったときも、取り消されます。プログラムも全部取り消されます。

CD-R／CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R／CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R／CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R／CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3 には対応しておりません。

CDを聞く(つづき)

無作為な順番で聞く(ランダム演奏)…リモコンのみ

停止状態のとき押します。

ソース(音源)が「CD」のとき押すと、表示窓にRANDOMが表示されます。

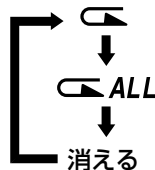
CD ▷/Ⅱボタンを押すと、無作為な順番で全曲を演奏し、終わると自動停止します。

● **ランダム演奏のモードを解除するには**

次のいずれかの操作をします。
・CDを取り出す
・停止中にRANDOMボタンを押す
・電源を「切」にする

くり返して聞く(リピート演奏)…リモコンのみ

押すごとに次のように変わります。

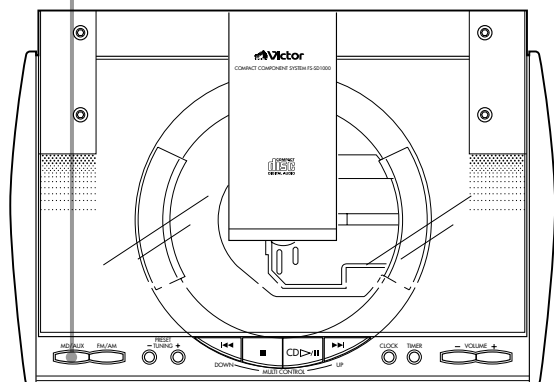
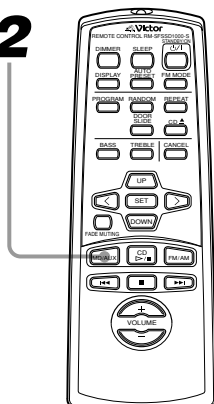
演奏中にREPEATボタンを押します。
(停止中に押したときはCD ▷/Ⅱボタンを押します)

：1曲くり返し(1曲リピート)

：全曲またはプログラムした曲のくり返し(全曲リピート)

：通常の全曲演奏(リピート演奏解除)

〈お知らせ〉
● ランダム演奏中にREPEATボタンを押すと、全曲リピートのランダム演奏になります。

他の機器の音声を聞く

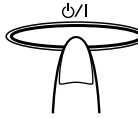
2

2

1 MD/AUX IN端子に他の機器を接続する

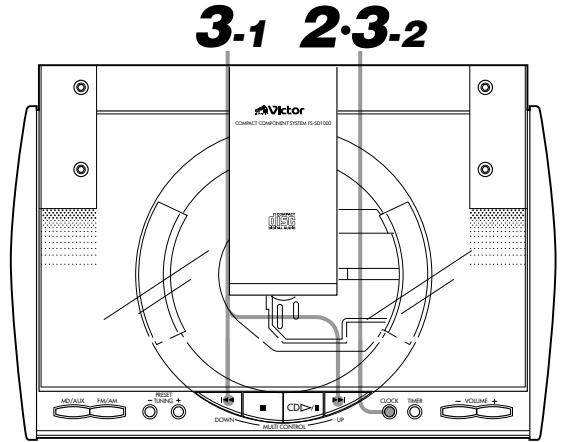
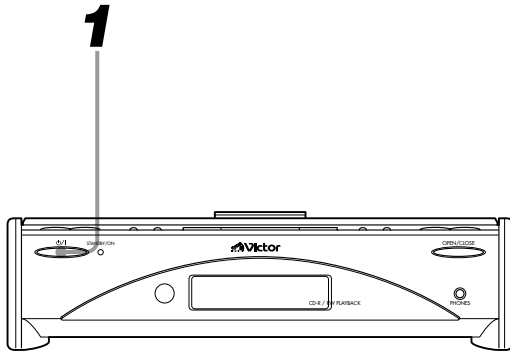
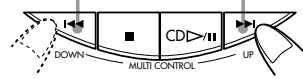
・MDプレーヤーやレコードプレーヤーなどが接続できます。➡14ページ参照

2 リモコンのMD/AUXボタンを押す

リモコン

・電源が入り、ソース(音源)が「AUX」になります。トップカバーが左の図の位置まで移動します。
・本体で操作するときは、電源を入れてからMD/AUXボタンを押します。

3 接続した他の機器を演奏状態にする

・詳しくは、他の機器の取扱説明書をご覧ください。

時計の合わせかた（現在時刻の設定） ー番号順に操作します。ー

●例：午後１時15分（13：15）に合わせるには…

● **正確に時刻を合わせるには**

テレビの時刻表示や電話の時報サービス等を利用してください。時刻を合わせ直すときは、左記の**2**～**3**の操作をします。

● **20分以上の停電や電源コードが抜いてあったときは**

時刻表示が取り消され0:00表示の点滅に戻ります。このようなときは、左記**1**～**3**の操作で時刻を合わせ直してください。

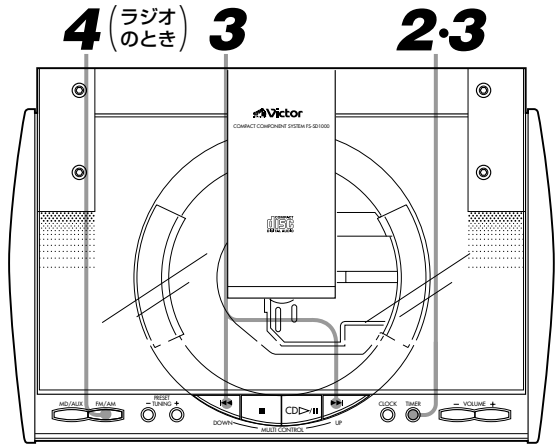
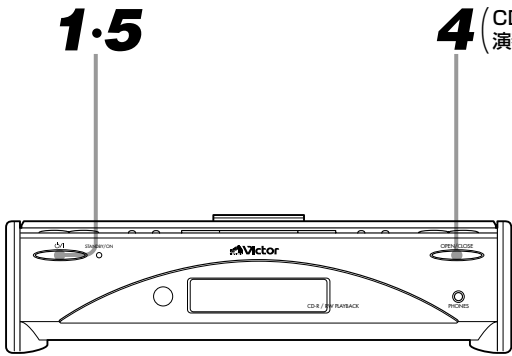
● **使用中に時刻を知るには（リモコン）**

リモコンのDISPLAYボタンを押します。もう一度押すと、ソース（音源）の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 「分」表示を合わせているとき、リモコンのCANCELボタンを押すと「時」表示の点滅に戻せます。「時」表示を修正することができます。
- 時計を合わせておくと、タイマーを利用することができます。
- 時計を合わせる前にTIMERボタンを押すと、「CLOCK」と「ADJUST」が交互に表示されたあと解除されます。
- 時計の精度は…
  月におよそ１分程度のズレを生じます。タイマーをお使いになるときは、時々時刻を合わせ直してください。

目覚ましタイマー（タイマー再生） ー番号順に操作します。ー

1·5　4（CDの演奏のとき）　4（ラジオのとき）　3　2·3

● 好きな音楽によってお目覚めになることができます。

3-4 タイマー再生中の音量を設定する

4 おめざめの音に合わせて準備する

	操作
ラジオ（放送）	FM/AMボタンを押して聞きたい放送局を選局しておく。
CDの演奏	聞きたいCDを入れておく。（1曲目からの演奏です）

5 ⏻/I （電源）ボタンを押して電源を「切」にする

・「GOOD BYE」が表示され電源が切れます。
・表示窓にタイマー表示（⏲）が表示されているか確認してください。

● 予約した開始時刻になるとタイマー再生が始まり、終了時刻で電源が切れます。
なお、電源が切れてもタイマー表示（⏲）は残ります。次の日も同じ時刻、同じタイマー予約の内容で使うことができます。

● 音量設定とフェードイン動作について

タイマー予約で音量を設定すると、タイマー再生スタート時は音量ゼロから設定した音量まで、自動的にボリュームが上がるフェードイン動作をします。
これをウェイクアップボリュームといいます。

● タイマー動作の取り消し

休日の前夜などに利用すると便利です。
TIMERボタンを押してタイマー表示（⏲）を消します。
再設定するときは、TIMERボタンを押してタイマー表示（⏲）を表示させます。

● タイマー予約の確認（電源「入」の状態のみ）

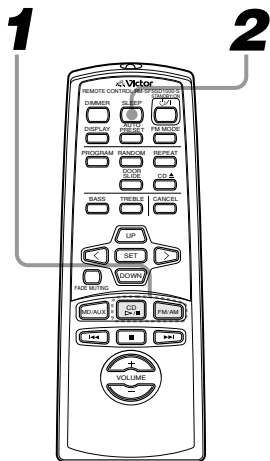
タイマー表示（⏲）が表示されているとき

・TIMERボタンを押したあと、さらにTIMERボタンを押します。

TIMERボタンを押すと、タイマー動作が取り消されます。もう一度押すと「開始時刻➡終了時刻➡タイマーモード➡音量」が表示されます。
元のソース（音源）表示に戻ったら終わりです。

〈お知らせ〉

● タイマー予約の内容は、一度設定するとメモリー（記憶）されます。変更するときは、上記の「タイマー予約の確認」の操作中に設定し直してください。
ただし、20分以上停電状態になるとメモリーは解除されます。
● 設定を間違えたり表示が変わってしまったときは…
手順 **2** から操作をやり直してください。
● 設定の途中でリモコンのCANCELボタンを押すと、前の設定内容に戻ります。
● タイマー再生を途中でやめるときは、⏻/I（電源）ボタンを押して電源を切ってください。
● CDの曲をプログラム順にタイマー再生することは、できません。

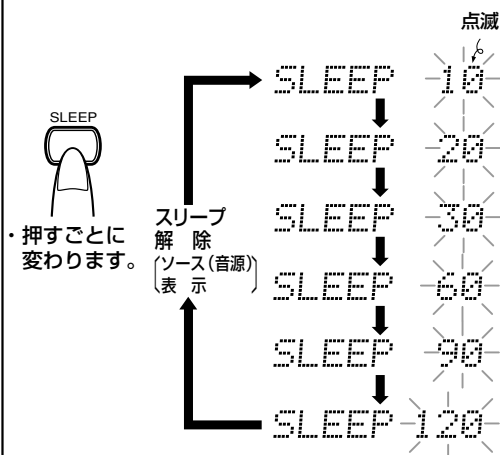
おやすみタイマー* ー番号順に操作します。ー

*おやすみタイマーとは…

テレビなどのオフタイマーと同じ機能で、指定の時間が経過すると自動的に電源を切ります。

● CDの演奏などを聞きながらおやすみになるには

1 聞きたいソース(音源)の音を出す

	操　　作
ＣＤの演奏	CDを入れ、CD ▷/Ⅱボタンを押して演奏する。
放　　送	FM/AMボタンを押して聞きたい放送局を選局する。

2 リモコンのSLEEPボタンを押して動作時間を選ぶ

・ SLEEPが表示窓に表示され、10、20、30、60、90、120 分のいずれかに設定できます。設定後 4 秒で設定前のソース(音源)表示に戻ります。
ティマー機能により表示窓が通常より暗くなります。

● おやすみタイマーがスタートし、指定の時間を経過すると電源が切れます。

● おやすみタイマーの動作時間の確認

・SLEEPボタンを押すと残り時間が確認できます。もう一度押すと再設定(時間の延長)ができます。

● おやすみタイマーを使っておやすみになり、翌朝、タイマー再生でおめざめになるには

1. 目覚ましタイマーを設定する
➡㉔㉕ページ参照
2. おやすみ時に聞きたい音を出す
3. SLEEPを押して動作時間を選ぶ

● おやすみタイマーのソース(音源)と、タイマー再生のソース(音源)は任意に選べます。

例えば

おやすみタイマー	CDの演奏	放送
タイマー再生	⬇ 放　　送	⬇ CDの演奏

ただし、両方とも放送を選んだときは、おやすみ時の最後に聞いていた放送局を翌朝も聞くことができます。

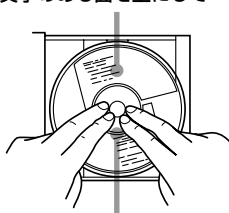
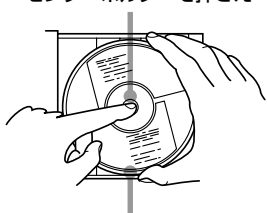
● おやすみタイマーの取り消し

➡ ・⏻/I(電源)ボタンを押して電源を切ると取り消されます。設定を解除するだけのときは、SLEEPボタンで解除します。

CDについて

CDの取り扱いかた

● ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ

演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。

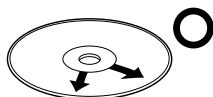
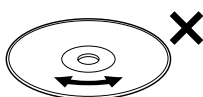
文字のある面を上にして…

上から押さえて入れる。

● CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
● CDは曲げないでください。

● 文字のある面に[COMPACT disc DIGITAL AUDIO]または[COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable]、[COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable]のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
● ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CDのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

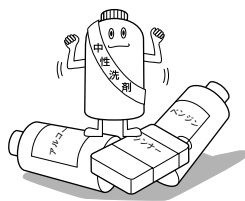
● シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

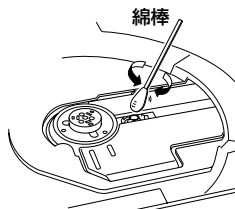
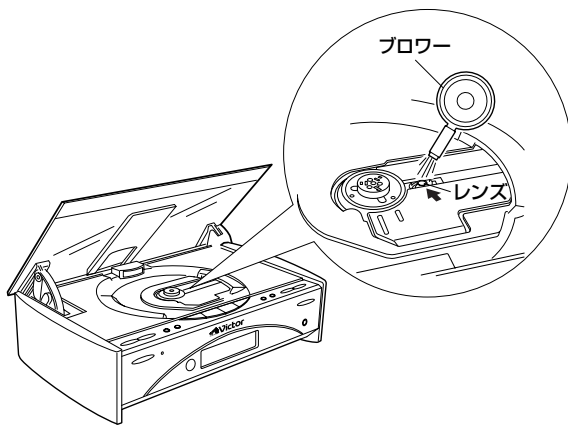
お手入れ

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

お願い

● **シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。**

CDプレーヤーのレンズの清掃

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。
CDドアを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。
● ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使ってゴミをはき出してください。

● 万一、指紋などが付いているときは綿棒で軽くふいてください。

故障かな？と思う前に

－おや？故障かな？と思ったら…
修理に出す前にもう一度お確かめください。－

	症状	原因	処置・確認のしかた	参照ページ
共通部	**音がでない。**	・ヘッドホンがつながれている。	・ヘッドホンのプラグを抜く。	8
	表示窓の時刻表示が点滅している。	・20分以上の停電があったため。または電源コードを抜いたため。	・時計合わせやタイマーの予約をし直す。	23
CDプレーヤー部	**演奏が始まらない。**	・CDが裏返しに入っている。	・文字のある面が上になるように正しく入れる。	20
		・レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、約1～2時間待ち乾いてから使う。	7
		・ファイナライズされていないCD-R／CD-RWディスクを入れたため。	・CD-R／CD-RWディスクはファイナライズしてから使う。	•
	特定の個所が正常に演奏できない。	・CDにキズがある。	・CDを交換する。	•
チューナー部	**雑音が多くて放送がうまく受信できない。**	・アンテナの調節が悪い。	・アンテナの調節をし直す。または設置場所を変える。	12
		・テレビやOA機器がそばにある。	・テレビやOA機器などから離す。	•
タイマー部	**タイマーがスタートしない。**	・現在時刻が合っていない。	・正しい時刻に設定し直す。	23
		・タイマー表示（⏻）が表示されていない。	・TIMERボタンを押してタイマー表示（⏻）を表示させ、再設定する。	24 25
リモコン	**リモコン操作ができない。**	・リモコンの乾電池が消耗している。	・新しい乾電池（単3形）と交換する。	11
		・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	・直射日光や照明器具などの強い光が当たらない所で操作する。	11

● 上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと時計合わせやタイマー予約をし直してください。

お願い

● 本機の故障または不具合等により再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または30～31ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　｜　出張修理

28ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合が発生したディスクなどのメディアも、一緒にご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	コンパクトコンポーネントシステム
型　名	FS-SD1000
お買い上げ	年　月　日
故障の状況	（できるだけ具体的に）
ご　住　所	（付近の目印等も併せてお知らせください）
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　－

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

別売アクセサリー

- 光デジタルケーブル　：XN-110SA（1 m）
- ステレオミニ～ピンプラグコード　：CN-201（1.5m）
- ピンプラグコード　：CN-180G（1 m）
- 電源コード　：CN-325A（1.8 m）
- スピーカーコード　：CN-403A(3 m、2本 1組）
- レコードプレーヤー　：AL-E350
- フォノイコライザー　：AC-S100J
- オーディオミキサー　：MI-A40
- クリーニングキット　：CK-25（CD用）

● 別売アクセサリーは、お買い上げの販売店でお求めください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.C.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水１丁目22-1
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.S.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

0201

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様

ー本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。ー

CDレシーバー部(CA-FSSD1000)

〈CDプレーヤー部〉

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz〜20kHz

〈チューナー部〉

受信周波数	FM：76.0〜108.0MHz AM：531〜1,629kHz
アンテナ	FM：75Ω不平衡型 AM：ループアンテナ

〈タイマー部〉

タイマー形式	1日1動作(オン・オフタイマー)
スリープタイマー	10､20､30､60､90､120分(ディマー機能付)
時計表示	24時間表示

〈アンプ部〉

入力端子	MD/AUX(ステレオミニ×1)、500mV 入力インピーダンス47kΩ
出力端子	CD DIGITAL(光角型ジャック×1) ー21dBm〜ー15dBm MD/AUX(ステレオミニ×1)、500mV 出力インピーダンス5kΩ PHONES(×1)、15mW/32Ω 適合インピーダンス16Ω〜1kΩ SPEAKER(1系統)、15W/4Ω 適合インピーダンス4Ω〜16Ω SUB WOOFER(×1) 440mV/6kΩ(100Hz)
実用最大出力	15W＋15W(EIAJ/4Ω)

〈共通部〉

電源	AC100V(50Hz/60Hz共用)
消費電力	電源　入(ON)時28W 待機(STANDBY)時1.6W
最大外形寸法	幅300㎜×高さ75㎜×奥行215㎜
質量	約3㎏

スピーカー部(SP-FSSD1000)：1本当たり

スピーカー	9.5cm×1cm長円形(×1)、4Ω
最大入力	20W(JIS)
再生周波数帯域	85Hz〜20kHz
最大外形寸法	幅125㎜×高さ315㎜×奥行125㎜
質量	約520g(スピーカーコード1.5m含む)

パスワードサブウーハー部(SP-PW1000)

スピーカー	17cm丸形(×1)、4Ω
再生周波数帯域	30Hz〜280Hz
入力感度	LOW：500mV/50kΩ HIGH：2.1V/1kΩ
実用最大出力	60W/4Ω
電源	AC100V(50Hz/60Hz共用)
消費電力	電源　入(ON)時39W 待機(STANDBY)時5W
最大外形寸法	幅226㎜×高さ295㎜×奥行315㎜
質量	約7.7㎏

● EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。

●付属品は7ページをご覧ください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理の依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
30〜31ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	東京…☎(03)5684-9311 FAX (03)5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪…☎(06)6765-4161 FAX (06)6765-4891 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット

〒371-8543　群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1　☎ダイヤルイン(027)254-8952

0701 MOMOZKJSC